

# エビデンスに基づく骨縁下欠損への対応

富岡 栄二 医療法人社団栄光会 富岡歯科医院 院長  
出身大学院：イエテボリ大学歯学部 歯周病学

## 講演抄録

歯周病が進行すると、歯槽骨の喪失がみられ、多様な深さや形態の骨縁下欠損が形成されることがある。

骨縁下欠損への対応として、古くから、非外科処置や多数の異なる手法の外科処置が紹介されているが、さらには、1980年代に導入された GTR に端を発する再生療法においても、現在では、多岐にわたるアプローチが実践、検証されている。

今回の講演では、蓄積されたエビデンスを検証することで、これらの多様な対処法を整理してとらえ、日常臨床において、骨縁下欠損にどのように対応するのが妥当と考えられるか検討する。